

平成 28 年度第 3 回(第 52 回)CPD プログラム委員会議事録

日 時：平成 28 年 8 月 25 日（木） 10:00～12:00

場 所：森戸記念館 第 2 会議室

出席者：日比谷啓介 委員、上田健之 委員、田辺朗 委員、宮元均 委員、
石原直 前委員長、木村軍司 幹事

オブザーバ：広崎膨太郎 会長、鈴木忠道 様

配布資料

- 資料 3-1-1 日本工学会 CPD 協議会役員・委員名簿 (H28. 8. 25)
- 資料 3-1-2 日本工学会 CPD 協議会 CPD プログラム委員会構成 (H28. 8. 25)
- 資料 3-2 平成 28 年度第 2 回 (第 51 回) CPD プログラム委員会議事録 (案)
- 資料 3-3 第 8 回 (平成 28 年度第 2 回) CPD 運営委員会議事録 (案)
- 資料 3-4-1 CPD Log Front の運用案
- 資料 3-4-2 CPD Log Front 導入に関するフィージビリティスタディー (中間まとめ)
- 資料 3-5 H28 CPD ホームページ検討資料
- 参考資料 1 第二回 CPD 協議会運営委員会資料
- 参考資料 2 今後の CPD 活動に関する課題と論点整理

議事

1. 横内喜志男委員長が出席出来なくなったため、石原前委員長の司会で議事が進められた。
2. 前回議事録の確認
資料 3-2 の議事録は、以下の修正をした上で承認された。
配布資料 2-5-2 を削除し、資料番号の「資料 2-5-1」を「資料 2-5」に修正する。
P2 の 3 行目「資料 2-5-1～2」を「資料 2-5」に修正する。p2 の下から 9 行目「学会がら」を「学会から」に修正する
3. 資料 3-3 に基づいて、平成 28 年度第 2 回 CPD 運営委員会の報告があった。
報告内容は、平成 28 年度 CPD 協議会の運営体制確認、CPD プログラム委員会及び ECE プログラム委員会の活動報告、平成 28 年度 CPD 協議会の活動計画などである。
これに関して、資料「第二回 CPD 協議会運営委員会資料」及び「今後の CPD 活動に関する課題と論点整理」を要求する意見が出され、参考資料として配布された。
4. 資料 3-4-1～2 に基づいて CPD 運用システム検討委員会の報告があった。
CPD Log Front を運用するための、手順、費用、事務局の仕事などについて、詳細に説明された。費用については、初年度 400 万円、その後は漸次減少し、100 万円程度で安定する。運用に当たっては、事務局の管理が必要である。類似のシステムと比較すれば、経済性

は優れている。

この説明に関して、以下のような意見が出された。このような事業を行う場合の、手順、費用等の算定は妥当なものである。費用、人員両面から、現在の日本工学会で、これを実施することは不可能である。ある程度の会員が見込める学協会であれば、実現は可能である。講習会等で同時に登録する数が多いと、コンピュータの処理が間に合わない恐れがある。最近 IC カードやカード読取機の価格が安くなってきたので、導入するにはこれも検討する必要がある。今後、ボランティア等の活用で、費用が 1/10 程度になれば、実現の可能性はある。

5. 資料 3-5 に基づいて、日本工学会の CPD ホームページの検討項目に関して説明があった。CPD 協会のホームページの検討内容を、カテゴリー A、カテゴリー B、カテゴリー C の 3 種に分類した。カテゴリー A は「CPD 協会について」、「CPD と ECE とは」の部分で、その説明及び今後の方向性を示す。カテゴリー B は「CPD プログラム」及び「リンク」の部分で、その内容を検討する。カテゴリー C は、「ポータルサイト」、「入会案内」及び「会員専用」の部分で、その内容を検討する。今後 CPD プログラム委員会で、カテゴリー C に関して、表題を含め、その内容を検討するよう広崎会長から依頼があった。

6. その他

CPD 協会は、日本工学会の中の事業活動の一つであり、日本工学会理事が CPD 協会副会長となり CPD プログラム委員会の委員長になっている。このため委員長の出身母体の学協会が、CPD 協会に加入していない場合が生じ、CPD 協会活動への取組み姿勢に温度差を生じかねない。今後の課題として、CPD プログラム委員会の委員長は出身母体が CPD 協会加入していることを条件にすべきではないか、という意見が出された。

次回開催 : 11月17日(木)または11月24日(木) 10:00~12:00 日本工学会会議室
日時は横内委員長の都合を聞いてから決定する。

以上

その後の調整で開催日時は、以下のように決定しました。

11月17日(木)10:00~12:00 日本工学会会議室